

《課題名》 Cortical bone trajectory (CBT)法による腰椎手術成績の調査

《研究対象者》

滋賀医科大学付属病院整形外科にて腰椎疾患のために CBT 法による手術加療を過去に受けた、または今後受ける症例

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報（及び生体試料）を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（試料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

研究課題名：Cortical bone trajectory (CBT)法による腰椎手術成績の調査

研究期間： 倫理委員会承認日（2019年2月19日）～2021年12月31日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 整形外科 准教授 森幹士

（2）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

本研究により本手技による腰椎疾患に対する臨床成績が明らかとなれば、腰椎疾患治療方法の選択に有用な情報となりうる。また、スクリュー引き抜き強度の強さから、骨粗鬆症が重度な症例に対する適応拡大できる可能性もあり、腰椎疾患に悩み手術加療が必要な患者にとっては福音となりえる。

（3）研究の方法について

《研究の方法》

滋賀医科大学付属病院整形外科にて腰椎疾患のために CBT 法による手術加療を過去に受けた、または今後受ける症例を対象とする。

臨床データは、症例の手術時年齢、性別、身長、体重や治療効果の判定として日本整形外科学会腰痛疾患治療評価質問票（JOABPEQ）、VAS (visual analog scale)、腰痛疾患治療調査票（JOA スコア）などを調査する。また、画像診断としては単純レントゲンや CT、MRI による調査を行う。

（4）個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。停止を求められる場合には、（西暦 2021 年 12 月 31 日までに）下記（8）にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 整形外科 森 幹士

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2252

メールアドレス： hqortho@belle.shiga-med.ac.jp